

# ほんだなの森



がっこうとしょかんしえんいん かねこ ともこ  
学校図書館支援員 金子 智子

あたらしい年がはじまりました。今年とはどんな本を読みましょうか。今回は、今年の干支、牛(丑)をテーマに本を紹介いたします。図書室では、「うしの本」の特集コーナーも用意しました。ぜひ見てみてくださいね。

## 『十二支のはじまり』



いわさききょうこ ぶん ふたまたえいごろう え  
岩崎京子/文 二俣英五郎/絵  
きょういくがげき  
教育画劇 E/い

おかし、ある年のくれ、神さまはどうぶつたちに、「正月のあさ、ごてんに着いたじゅんの12ばんまでを、その年のたいしょうにする。」と、おふれを出しました。うしは、まえのばんから出かけましたが、ねずみに出あってしまい…。十二支のゆらいのおはなです。

低学年向け

## 『ぼくじょうにきてね』



ほしかわ ぼしかわはる お しゃしん ぶん  
星川ひろ子 星川治雄/写真・文  
ポプラ社 64/ほ

「あたしのうちはぼくじょう。あのね、きのうのよるこうしがうまれたの。みんなあそびにきてね。」  
ぼくじょうにとっての牛は、生活するためのたいせつなどうぶつです。まどかちゃんの、いのちと向き合うくらしをしょうかいした、写真えほん。

## 『3年2組は牛を飼います』



きむら こ さく  
木村セツ子/作  
ぶんけんしゅつばん  
文研出版 913/き

つばな台小学校では、「育てることを通しているいろいろなことをまなぼう。」という取り組みをしています。3年2組は、クラスメイトの発案で、牧場から子牛をあずかって飼うことになりました。命を育てる責任をはたすため、みんなは子牛の世話をがんばります。

## 『ノロウェイの黒牛』



なかがわちひろ/文 さとうゆうすけ/絵  
BL出版 E/な

身の毛もよだつ怪物とされるノロウェイの黒牛と結婚した娘。恐ろしい見た目でありながら思いやりのある黒牛に、娘は心を通わせていきます。実は、黒牛は呪いをかけられた王子でした。スコットランドに伝わる昔話です。

## 『調べようごみと資源 2 紙・牛乳パック・布』



おおかどおさむ まつとうとしひこ かんしゅう  
大角修/文 松藤敏彦/監修  
こみねしよてん  
小峰書店 51/お

給食でおなじみの紙パック入の牛乳。紙パックは軽くて、ガラスびんのように割れることもなく、リサイクルしやすいのが特長だそうです。この本では、紙パックの作り方やリサイクルについて知ることが出来ます。その他の紙、布についても紹介されています。

高学年向け

## 『棕鳩十動物童話集 第15巻 やせ牛物語』



おくはとじゅう どうぶつどうわしゅう だい 15 かん うしものがたり  
棕鳩十/著  
こみねしよてん  
小峰書店 913/お

よく太って毛並みもよい子牛の雲竜。一方、骨と皮ばかりにやせた子牛のはな。この2頭の子牛は、闘牛育ての名人である八郎に育てられることとなります。体が小さくおとなしいけれど素直で気の強いはなは、訓練を重ねて強い牛へと成長していきます。